

企業 Companies Interview インタビュー



石狩工水 北海道企業局の工業用水を使っています。

コープフーズ株式会社 様

コープフーズ株式会社様は、「コープさっぽろ食品加工センター」を前身として、平成29年(2017年)2月に設立されました。

現在は全道7か所に工場を有し、コープさっぽろの店舗や宅配・配食に加え、近年は、病院や高齢者施設、さらには幼稚園や学校のランチ提供へと業容を拡大しました。

「あらゆる食のニーズに応える!」「美味しい食をより多くの方に!」をモットーに、子どもからお年寄りまで全ての世代に向け、食材を吟味し健康に配慮したレシピを職員一丸で日々追求されています。



石狩工場 工場長 菊崎 直樹様

Q 御社は、コープさっぽろの店舗や宅配などで多様な「食」を提供されていますが、石狩工場の位置付けを教えてください。

A コープさっぽろの店舗・宅配・その他施設へ「弁当」「惣菜」「カット野菜」「スイーツ」「冷凍パン生地」などの原料供給、アウトパック商品の製造出荷を行っています。

『おいしい食事を通して北海道に貢献する』テーマのもと365日24時間稼働している工場です。

また、当施設は日配物流センターが併設されていて、全道のコープさっぽろ店舗に日配品と工場製品を供給する物流拠点の一つになっています。

Q 石狩工場では、主にどのような用途で工業用水を利用されていますか。

A 工業用水の月間使用量は600トンで、ろ過して水質を確認後、ほぼ全製品製造に使用しています。石狩工場にとって水質の維持と安定的な供給をして頂くことが重要です。



炊飯ライン



巻き寿司調理の様子

Q 石狩工場の製造品目や施設には、どのような特色があるでしょうか。

A すぐに食べられる即食系の商品を中心に、お客様のニーズに合わせて3つの温度帯(常温・チルド・冷凍)で製造をしており、特に2021年からは冷凍惣菜の取り組みを強化しています。

また、災害時にも貢献できる工場を目指し、2018年の胆振東部地震によるブラックアウトの際に全く工場が稼働できず、原料もすべて廃棄した反省から、2021年2月よりオンサイト発電を開始しました。



惣菜盛り付けの様子

Q 本社がある石狩湾新港地域の魅力などについて、最後にご紹介ください。

A 石狩湾新港地域は、製造・倉庫・物流などが集積しており、札幌の近くであること、かつ地方への交通網がしっかりあることが最大のメリットです。

冬も優先的に除雪が入り交通はしっかり確保されています。

時に「働く人」の取り合いも発生しますが、競争と共存により石狩新港全体での雇用条件・労働環境は良くなってきています。

「働く人」を集められるインフラが発達すれば、石狩新港はさらに発展できる地域だと思います。

